

愛知県自然観察指導員連絡協議会

協議会ニュース

184号

2025. 7



- | | | | |
|---|---------------------------|-----------|------|
| 1 | 2025年度 通常総会報告 | 編集担当 | 内海勇夫 |
| 2 | 講演会報告「島嶼環境に直面した広域分布種」 | 広報担当 | 山田博一 |
| 3 | 支部報告 名古屋支部 尾張支部 | | |
| 4 | 支部報告 西三河支部 | 春日井市の植物 | 内海勇夫 |
| 5 | ピースボートで見た「山火事と自然」 | アンデスの西一チリ | 中西 正 |
| 6 | 保険担当からのお願い・LINE のオープンチャット | | |
| 7 | 行事案内・新理事紹介・編集後記 | | |

今号の表紙

海上の森 カミキリモドキ

愛知県自然観察指導員連絡協議会 総会

議事録 日時 3月20日 場所 吹上ホール

第1号議案

- 1 愛知の自然観察会 各支部 5回実施
- 2 研修会「コケ植物の研修会」野田二三子 氏
- 3 協議会交流の日 自然観察・ワークショップ
座談会 森林公園展示館 担当 浅井
- 4 生物分類・生態研修会
「ムシが語る昔ばなし-ムシとヒトの災害史の研究」 森 勇 氏
「外来植物 ヒメニワセキシヨウ シンチクニシ
キノウなどについて」 瀧崎吉伸 氏
- 5 調査活動 協議会では行いませんでした。
- 6 広報活動 「協議会ニュース」3回実施
- 7 HP担当 HPの更新と運用
- 8 保険 2024年度 類型保険対象者数 2230名
- 9 その他
愛知県海岸保全基本計画健闘委員会 瀧崎 参加
愛知県野生生物保護実践発表会 浅井 審査員として参加
SDG's エキスポ2024 担当 森
- 10 理議会 4回実施

第2号議案

2024年度決算 収入 支出とも承認されました。

第3号議案

令和7年度役員承認
会長(永田) 副会長(三田・星野) 事務局長(高松)
補佐(浅井) 機関紙編集(内海・馬場) 発送(三田)
会計(霜) 名簿管理(三田) HP広報(山田)
保険(高松) 保険・調査(瀧崎)
行事計画(浅井・坂部) 尾張(平井) 名古屋(滝田)
知多(榊原) 西三河(三田) 東三河(星野)
監事(河江・平松)

第4号議案 令和7年度行事計画

- 1 総会・講演会 3月20日 名古屋中小企業振興会館
「身近な植物の繁殖作戦について・植物よもやま話」
講師 岡崎純子 氏

2 自然観察指導員養成講習会

11月15日(土) 16日(日) あいち健康の森

3 愛知の自然観察会 ()は担当支部

5月11日(日) 9:30~12:00 蒲池海岸

蒲池漁港P(知多)

6月7日(土) 9:30~12:00 明德公園

明德公園西駐車場(尾張)

6月7日(土) 9:30~12:00 熱田神宮

熱田神宮東門前(名古屋)

7月13日(日) 10:30~14:30 面の木園地

面の園地駐車場(東三河)

10月19日(日) 9:00~12:00 西浦海岸

西浦マリーナ前駐車場(西三河)

4 研修会 未定

参加費有料(会員500円 一般1000円程度)

5 新人研修会・協議会交流の日

1月25日(日) 東三河ふるさと公園 担当 浅井

6 調査・保全活動

愛知県海岸保全基本計画健闘委員会に参加 瀧崎

7 広報活動 編集担当 協議会ニュース

184号(7月) 185号(11月) 186号(3月)

協議会のホームページに掲載する。

8 保険 別紙にて

9 本年度の理事会 原則14:30~

第1回10:00~終了 第2回7月20日(日)

第3回11月8日(土) 第4回2月8日(日)

第5号議案

2025年度予算案 収入・支出とも承認されました



ダイミヨウセセリ

「島嶼環境に直面した広域分布種

(広域分布種キキョウ科ツリガネニンジン類)」

講師 岡崎 純子氏 大阪教育大学・理科教育部門・特任教授(植物学専攻)

山崎純子氏は、山登りが好きで、浅井前会長と同じ信州大学の研究室に入学され植物分類学の道に進まれました。最初、自分の研究内容が自然観察会の要望に当てはまらないかもしれないと言われましたが、講演内容を聞いてみると日本列島の植物多様性の進化に関する理解を深めるだけでなく、島嶼環境での植物保全の重要性や、送粉昆虫が植物の進化や分化において重要な役割をはたしているのが良くわかりました。



講演内容

種の分化を研究する上では、島嶼環境(島々の環境)は植物の繁殖様式の進化の要因を解明するのに適した場所です。日本列島において多様な環境に生育する広域分布種は、島への侵入・定着の過程で種子分散や花粉分散といった遺伝子流動の制約に直面し、それに適応してきた歴史を持っています。特に外交配(他家受粉)を行う植物にとって、花粉分散に関わる訪花昆虫相の変化は子孫を残すためには重大な課題となっています。

今回は日本列島において北海道から沖縄、海岸から亜高山帯と様々な環境に生育する広域分布種ツリガネニンジン(キキョウ科)についての葉緑体DNAの遺伝構造解析を行いました。その結果、ハプロタイプ(半数体の遺伝子型)解析を行ってみると、この植物は日本列島全体に分布を広げた後、東西に遺伝的に分化しているのがわかりました。

そこで、侵入や定着を行う時に遺伝子流動の制約がある島嶼環境(島々の環境)の形態を比較してみました。

この植物は本土では蜜は昼間には分泌せず夕方から夜間にかけて分泌されています。主な訪花昆虫は夜の蛾の仲間です。海洋島の伊豆諸島で訪花昆虫の種類や活動時間帯をしらべてみると、分布南限の三宅島では、訪花昆虫の種類が夜行性の蛾から昼行性のハチへと媒介する昆虫が変わるという訪花昆虫シフトが起こっており、送粉様式が分化して、花の形態まで分化している研究成果が得られました。

そこで、蜜分泌特性が花の形態の変異に大きな影響を与えているのではないかと、蜜分泌を調べてみると、本土集団と島嶼には分泌する蜜成分や蜜量には違いはありませんが、蜜分泌に関わる形態に分化が見られ、島嶼で送粉生態型の分化が起こっているのが解明されました。

最後に、本土近接型離島といわれる愛知県と三重県を結ぶ鳥羽諸島でのこの植物の多型的な形態変異の要因についてしらべると、この地域では葉緑体DNAの分析から変種ツリガネニンジンと変種サイヨウシャジンの交雑が起こっており、これがこの地域の集団内で著しい多型がみられる原因になっていることがわかりました。

(文責 山田博一)



名古屋支部総会報告

滝田久憲

日時：2月23日（日）14:00～

場所：名古屋市中区生涯学習センター

参加者：18名 委任状：51名

令和7年度の名古屋支部総会が、「名古屋市中区生涯学習センター」の視聴覚室で開催されました。

支部長の挨拶の後、議長と記録係が選出され、議事が進められました。

1. 令和6年度の各種事業の報告が行われました。市内11箇所で実施されている定例自然観察会やなごや自然教室、名古屋市環境局と協働で実施している自然体験会、会員のスキルアップのための研修会などの報告が行われました。

2. これらの事業の実施に伴う会計報告。

1. 2. 共に承認されました。

3. 令和7年度は、役員改選の年に当たりますが、会計業務の引継ぎのために会計を2人体制とすること以外はほぼ昨年通りで承認されました。

4. 令和7年度の事業計画について、各種の自然観察会や自然体験会、会員のスキルアップのための研修会などが議論され、その事業予算を合わせて承認されました。あいちの自然観察会を6月7日（日）に熱田神宮で実施することになりました。

5. 総会終了後には、東三河支部の瀧崎吉伸氏の講演「身近な雑草を見分けるー観察会にすぐに役立つ似たもの分類術」を実施しました。

6. 令和7年度支部役員

支部長 滝田久憲

副支部長 各定例自然観察会代表者

会計 久村三重子、浅井昭枝

会計監査 森 光宏、研修 佐藤裕美子

機関紙編集、HP管理 布目均

尾張支部総会報告

内海勇夫

日時 令和7年1月13日（月・祝日）

10:15～12:00

場所 こまき市民交流テラス ラピオ2階

参加者 10名

尾張支部総会では、令和6年度の事業報告・決算報告及び監査、令和7年度の役員・事業計画案・予算案を承認決定しました。

尾張支部の今後の方針について
会計の件・・・会費は引き続きなし。会計が変わり、郵貯から愛知銀行に変更しました。今後、会費を徴収するかどうかは未定です。

通信・・・機関紙はメールで行います。

尾張西部生態系ネットワーク協議会は、継続し、尾張北部生態系ネットワークは現在検討中です。

定例観察会

・明德公園自然観察会

・尾張北部自然観察会

・森林公園自然観察会

・木曾川下流自然観察会

・海上の森自然観察会

・善師野自然観察会

・日進岩藤川自然観察会は、尾張支部からは離れますが、観察会は継続です。子供たちも多数参加し、楽しい観察会です。

令和7年度役員

会長 平井直人

副会長 高橋かほる 事務局 内海勇夫

会計 内海勇夫 監査 木村眞一郎

通信作成 齋竹善行

HP 高橋征生 山田博一

役員は少しずつ交代していますが、初期のころからのメンバーが残る状態です。今年は新たなメンバーも加わり、次につなげていくことが大きな課題です。

西三河支部総会報告

三田 孝

日 時：2月8日（土）14:00～

場 所：岡崎竜ヶ丘会館

参加者：14名

2024年度活動報告

支部主催観察会

3/31 北山湿地、10/5 本宮山、1/19 亀城公園
の3回実施した。5/19 段戸裏谷は雨天中止
参加者計43名

地域定例観察会

くらがり溪谷観察会、おかざき自然体験の
森観察会、おかざき自然体験の森植物観察
会、平戸橋公園周辺自然観察会(草だらけの
会)、亀城公園自然観察会、岡崎東公園と小
呂湿地観察会の6ヶ所で延べ47回実施した
参加合計501名

会員研修会

6/1 昭和の森で実施 参加者9名

新ホームページを2024年7月より公開

<https://nishimikawa-shizen.jp>

2025年度活動計画

支部主催観察会

5/18 足助黍生山、8/30 茶臼山、10/19 西浦
海岸、1/18 岡崎中央総合公園

地域定例観察会

おかざき自然体験の森自然観察会は担当者
高齢化のため閉鎖。残り5ヶ所で実施予定
会員研修会

3/29 豊橋葦毛湿原と弓張山地

新年度役員

会 長 三田 孝 副会長 馬場隆之
事務局 石黒豊広 広 報 中根幸司
広 報 手嶋正博 監 査 中川秀彦
幹 事 河江喜久代、山本博美、伴幸成
武田和樹、水野みどり

春日井市を流れる川と植物

内海 勇夫

春日井市に流れる河川は、岐阜県から流れ
る庄内川や内津峠からやってくる内津川、小
牧市の兒の森からやってくる八田川などがあ
ります。

今回は、内津川の熊野町北から堀之内北ま
で双子葉植物を中心に春と秋に行いました。

春にはブタナ・コウゾリナ・アメリカフウ
ロ・マツバウンラン・マンテマ・オオキンケ
イギクなどが見られました。



オオキンケイギク

秋には、アレチハナガサ・オオイヌタデ・
オオブタクサ・クズ・センニンソウ・ヒレタ
ゴボウなどが見られました。



オオブタクサ

調査結果から、双子葉植物88本のうち約
62%、55本が外来種でした。

ピースボートで見た「山火事と自然」 アンデスの西—チリ

中西 正

2017年2月10日プンタアレナスから空路サンチャゴに向かった。

プンタアレナスはパタゴニアにあり、チリ最南端の町である。そこから首都サンチャゴへは飛行機で3時間50分、席が通路側のため景色が見られず時間が長く感じた。飛行ルートは海岸伝いだっただろう。そこには豊かな森が見えたはずだ。

パタゴニアの様子をダーウインは『ビーグル号航海記』の中でこう述べている。「そこにはナンキョクブナの大原始林が広がっている。山の斜面は、水際からずっと上まで一帯の大森林で被われている。生い茂っているものと倒れたものとの入り混じった有様は熱帯の森林を思い起こさせたが、そこには違いがあった。ここには幽寂があり、「生」の代わりに「死」が主権を持つ精霊があると思われた。フェゴにははなはだふさわしい粗野な壮観、すべてが一団の密生したうす暗い森に被われているのは極度に神秘的な荘厳なものであった。」

高木正孝『パタゴニア探検記』にはパタゴニアの開拓の方法が出ている。「原始林に火をつけてしまうのだ。山火事になる。消すことができないから燃え放題に広がり、必要のない山まで坊主になる。その後を牧場にする」20世紀においても、その方法は同じだった。人が住めそうな地形ではどこもその方法で自然を改変した。岩が迫る海岸地方だけに原生林が残っているのだろう。

やはり『ビーグル号航海記』では、「フェゴの北のチロエ、そこはフェゴとどこか似ている。しかし、近づいてみれば森林は比較にならず美しい。常緑の多くの種類と熱帯性の植物とがここでは南方の海岸にある陰鬱なブナの代わりに生えている。フェゴでは樹木は山の側面だけに生えていて平坦な地はどこも常に泥炭の厚い層で被われている。しかし、チロエでは平坦な地は極めて繁茂した森林を維持している。」「たいがいの国では火の力を借りてあまり苦勞せずに森林を取り除く。しかし、チロエでは風土が湿気が多いことと樹木の種類のためにまず木を切り倒さなければならない。」とあった。

サンチャゴに着く直前の山は高く、頂上近くは雪で白くなっていた。アンデスの山だろう、この東方にはアカタマ砂漠が広がっているはずだ。サンチャゴに着いたとき窓の外に見える山には草の株がぼつぼつと生える実に乾燥した風景だった。飛行機から降りると暑い。そして埃っぽい。景色がぼやけている。砂埃かと思い、乾燥地の景色はこんなものかと思ったが、実際は数日前まで続いていた山火事の影響という事だった。

2月13日、サンチャゴから海岸まで下り、パルパライソの港からペルーのカヤオに向かった。

ダーウイン『ビーグル号航海記』(上)(中)

高木正孝「パタゴニア探検記」



ブナの原生林



山火事の煙でけぶるサンチャゴ

保険担当からのお願い

毎月翌月 5 日までに保険担当 高松まで保険対象参加者数を報告下さい。

E-Mail : kazu_nol@hotmail.com

連絡が遅れる団体が多数あります。保険料の締切は毎月 5 日まで
保険会社への支払いが大きく変わります。ご協力をお願い致します。

LINE のオープンチャット

【繋がりを広めよう！】

愛知県自然観察指導員連絡協議会の LINE のオープンチャットを作りました。

日頃の観察会の様子や知りたいことなど、どんどん発信してください。

協議会のコミュニケーションをよくする為に、もっともっと楽しい交流の場としましょう。

注意点 オープンの場です。個人が特定しにくいニックネームで。

(例) 名前 愛知 自然→オープンチャットの登録名 モリゾウ

※誤字・脱字は気にしない。

※禁止事項：誹謗中傷は禁止です。則退場していただきます。

※オープンチャット「愛知県自然観察指導員連絡協議会 交流会」

https://line.me/ti/g2/ztQE0VRQHf4khzviKpCNZ7MPOK2K7FEaqR2Q?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

※ここからも“LINE オープンチャット”に入れます



愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会） 事務局 高松一史

メールアドレス：zu_nol@hotmail.com

郵便振替口座：00820-9-6546（名義：愛知県自然観察指導員連絡協議会）

行 事 案 内

☆ 自然観察指導員養成講習会

11月15・16日(土・日)

会場 あいち健康の森プラザ(愛知県大府市)

<https://www.nacsj.or.jp/educate/2024/02/8761/>

今回は、幅広い年齢層の方をご紹介下さい。特に次の世代にバトンを繋げましょう。大学生・社会人・お父さん・お母さんなどにも、自然観察の楽しさや素晴らしさを学んで、最初の一步を踏み出していただきたいと思います。

新 理 事 紹 介

会計 霜 桂子さん

自然観察指導員となり尾張支部に所属し観察会に参加するようになって8年、現在は森林公園の自然観察会の担当をしています。自然の営みや生存戦略に感動し、楽しく活動を続けています。特に好きなのは、身近で見られて割と綺麗な花が咲く「雑草」といわれるような植物です。森林公園でガイドボランティアや東海自然学園でのスタッフ活動などにも携わり、どっぷり自然に関わる生活に浸かっています。まだまだ未熟ものですが宜しくお願い致します。

行事担当 空 里咲さん

親子自然体験を行う地球ハグ倶楽部代表。はちみつや植物の恵みを使ったエステ、自然療法整体など、ヒーリングサロン主宰。今ハマっているのは、畑とみつばちと着物です。今年の指導員講習会に若いお母さんお父さんと呼んでほしいというミッションを頂きましたので、がんばります。

<編集後記>

協議会ニュース184号。6月14日(土)締め切りでした。残念ながら予定の報告を提出していただけませんでした。しかし、各支部がそれぞれの活動を支部のHPに載せていただいているので、重複するのかなとも思っています。また、個人・他のグループでの活動も皆様に伝えられるニュースがあれば載せていきたいと思っています。

今後も、愛知の自然を観察紹介する資料等ありましたら報告をお願いします。

編集委員

内海勇夫 馬場隆之

編集校正委員

岡田 保